

気ままな絵日記○吉田拓郎



気ままな絵日記



1972年 8月20日 初版発行
¥ 530

気ままな絵日記

著 者 吉田拓郎

発行者 下野 博

発行所 株式会社立風書房

〒 141 東京都品川区東五反田 3 の 6 の 18

電 話 (03)447—1191

振 替 東京74493番

印 刷 信毎書籍印刷株式会社

株式会社美術版画社

株式会社千代田グラビア印刷社

© 1972, Takurou, Yoshida. Printed in Japan

日本音楽著作権協会出認第472402号

乱丁、落丁本はお取替えいたします。

0093—5526—8909

気ままな絵日記○吉田拓郎



夏休み

麦わら帽子は もうきえた
たんぼの蛙は もうきえた
それでも 待ってる 夏休み

姉さん先生 もういない
きれいな先生 もういない
それでも 待ってる 夏休み

絵日記つけてた 夏休み
花火を買ってた 夏休み
指おり 待ってた 夏休み



畑のトンボは どこ行った

あの時 逃がして あげたのに

ひとりで 待ってる 夏休み

すいかを食べてた 夏休み

水まきしてたつけ 夏休み

ひまわり 夕立 せみの声







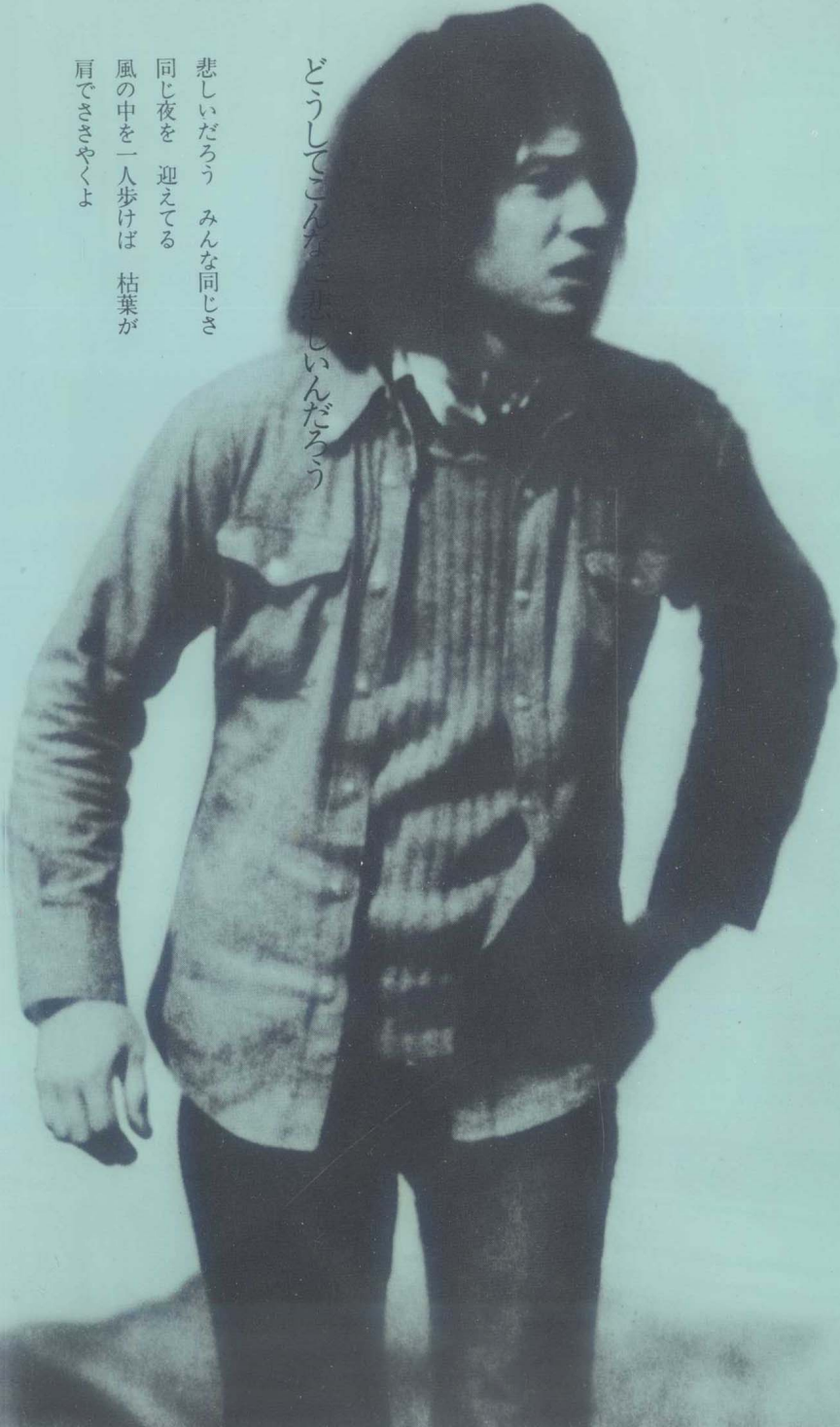
どうしてこんなに悲しいんだろう

悲しいだろう みんな同じさ

同じ夜を 迎えてる

風の中を一人歩けば 枯葉が

肩でささやくよ



どうしてだろう このむなしさは

だれかに会えば 静まるかい

こうして空を見上げていると

生きてる事さえ むなしきよ

これが自由と言うものかしら

自由になると淋しいのかい

やっと一人になれたからって

涙が出たんじゃ 困るのさ

やっぱり僕は人にもまれて

みんなの中で生きるのさ

人の心は暖たかいのさ

明日はもう一度ふれたいな

一人言です 気にとめないで

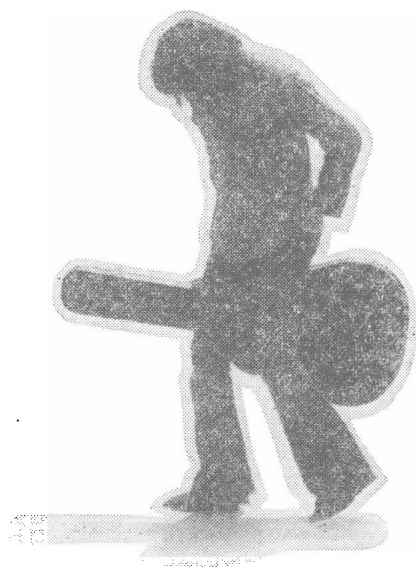
時にはこんなに思うけど

明日になれば いつものように

心をとざしている 僕さ



氣ままな絵日記
目次



第一章——今日までそして明日から 13

今日までそして明日から 14

気ままに歌う『僕の歌』 17

当たり前な『僕の世界』 21

姉さん先生 30

「帰れ」の意味は…… 33

お佳との出会い 38

歌との出会い 42

家出とフオーク・ソング 45

そして明日からも…… 47

第二章——青春の詩 53

青春の詩 54

気ままに書いた僕の青春論 55

失恋をする喜びは…… 62

愛するという言葉 68

結婚のイメージを話すなら…… 74

結婚と同棲について述べるなら…… 79

男同士の付き合い——友情論かな？——

親父・息子・親父・息子の話 88



第三章——おろかなるひとり言 97

おろかなるひとり言 98

僕はフォーク・シンガーではない 100

Gパンとフォーク・ソング 104

僕とギターちゃん 110

ボブ・ディランは最高のピエロ 113

泳がないということは…… 117

自転車 123

僕は百面相 126

漫画的人間 131

カンニングという仇花 134

第四章——つれづれなるままに 145

だけど好きだよ・基地サ 145

おやじの唄・僕一人

たどり着いたらいつも雨降り

僕の好きなところ・心算しき私は

Sex・恋の唄・高円寺

サヨナラ 僕は気まぐれ

ぬいもの・馬・秋の詩



第五章——友だち

163

友だち

164

小室等・かまやつひろし・五輪真弓

鈴木ヒロミツ・吉田真由美・南こうせつ

石川鷹彦・遠藤賢司・杉田二郎

猫（内山修・田口清・常富喜雄）

四角佳子

第六章——とっぽい男のバラード

193

とっぽい男のバラード

194

あとがき

226

ブックデザイン——石岡瑛子
撮影——田村 仁



第一章



今日までそして明日から

今日までそして明日から

わたしは今日まで生きてみました

時にはだれかの力をかりて

時にはだれかにしがみついて

わたしは今日まで生きてみました

そして今 わたしは思っています

明日からも

こうして生きて行くだろうと

わたしは今日まで生きてみました

時にはだれかをあざ笑って

時にはだれかにおびやかされて

わたしは今日まで生きてみました

そして今 わたしは思っています

明日からも

こうして生きて行くだろうと

わたしは今日まで生きてみました
時にはだれかにうらぎられて
時にはだれかと手をとりあって
わたしは今日まで生きてみました
そして今 わたしは思っています
明日からも
こうして生きて行くだろうと

わたしにはわたしの生き方がある
それはおそろく
自分というものを
知るところから

始まるものでしょう
けれど それにしたって
どこで どう変ってしまうか
そうです わからないまま生きてゆく
明日からの そんなわたしです

わたしは今日まで生きてみました